

令和8年度学校評価（前半）を振り返って

学校評価アンケートにご協力ありがとうございました。

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。1学期末に保護者・児童・教職員を対象に行いました令和8年度学校評価（前半）の集計結果をお知らせします。保護者の皆様におかれましては、お忙しい中、アンケート（インターネットを利用した回答形式）にご協力いただき、ありがとうございました。

洛央小学校では、「人を大切に、心ゆたかにたくましく生き抜いていく子 ～知恵を出し合い、みんなで問題を解決する力を育てる～」を教育目標とし、教育活動を進めています。今年度は昨年度と同じ質問内容で実施しています。今回の集計結果を真摯に受け止め、2学期以降の教育活動の改善につなげていくために、今後の取組に活用してまいりたいと考えております。

①子どもは、自分で（自分たちで）考えて解決しようとしていますか。（保護者）

新しいことやわからないことがあったとき、まず自分で（自分たちで）考えようとしていますか。（児童）
子どもたちが自分で（自分たちで）考えて解決するような取組をしている。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	22%	66%	11%	1%
児童（高学年）	46%	44%	8%	2%
児童（低学年）	53%	37%	9%	1%
教職員	29%	68%	3%	0%

②子どもは、友達と協力できていますか。（保護者）

いろいろな活動で、友達と協力して取り組んでいますか。（児童）
子どもたちが友達と協力できるように取り組んでいる。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	30%	63%	6%	1%
児童（高学年）	54%	35%	10%	1%
児童（低学年）	60%	31%	7%	2%
教職員	35%	60%	5%	0%

③子どもは、進んで体を動かしたり運動したりしていますか。（保護者）

自分から進んで体を動かしたり運動をしたりしていますか。（児童）
子どもたちが進んで体を動かしたり運動したりするように取り組んでいる。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	37%	42%	18%	3%
児童（高学年）	48%	26%	19%	7%
児童（低学年）	62%	26%	9%	3%
教職員	13%	74%	13%	0%



④家庭では、子どもが進んで学習に向かえるように声かけなどをしていますか。(保護者)

自分から進んで学習に取り組むことができましたか。(児童)

子どもたちが進んで学習に向かえるように取り組んでいる。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	32%	60%	7%	1%
児童(高学年)	41%	39%	15%	5%
児童(低学年)	50%	36%	11%	3%
教職員	28%	70%	2%	0%

⑤家庭では、子どもが自分や人を大切にできるように声かけなどをしていますか。(保護者)

自分や友達を大切にできましたか。(児童)

子どもたちの自分や人を大切にできる心が育つように取り組んでいる。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	46%	52%	2%	0%
児童(高学年)	68%	27%	5%	0%
児童(低学年)	69%	23%	6%	2%
教職員	33%	67%	0%	0%

⑥家庭では、子どもたちの健康を意識して生活リズムを整えるようにしていますか。(保護者)

健康に注意して生活できていますか。(児童)

子どもたちの健康管理について取り組んでいる。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	38%	55%	6%	1%
児童(高学年)	46%	36%	13%	5%
児童(低学年)	60%	31%	8%	1%
教職員	38%	57%	5%	0%

⑦学校(学級)は、子どもたちが最後まであきらめずに、勉強や課題に取り組むことができるように支援していますか。(保護者)

最後まであきらめずに、勉強や課題に取り組むことができますか。(児童)

子どもたちが最後まであきらめずに、勉強や課題に取り組むことができるように支援している。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	35%	59%	5%	1%
児童(高学年)	44%	42%	11%	3%
児童(低学年)	67%	25%	7%	1%
教職員	40%	58%	2%	0%



⑧学校(学級)は、子どもたちが自分から進んであいさつができるように熱心に取り組んでいますか。(保護者)
自分から進んであいさつをすることができましたか。(児童)
子どもたちが自分から進んであいさつができるように取り組んでいる。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	35%	59%	5%	1%
児童(高学年)	55%	27%	12%	6%
児童(低学年)	63%	27%	8%	2%
教職員	33%	56%	9%	2%

⑨学校(学級)は、子どもたちが安全に過ごせるように安全指導(事故・事件・災害など)に熱心に取り組んでいますか。(保護者)
事故や事件などにあわないように安全に生活できていますか。(児童)
子どもたちが安全に過ごせるように安全指導(事故・事件・災害など)に取り組んでいる。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	38%	56%	5%	1%
児童(高学年)	70%	24%	5%	1%
児童(低学年)	70%	26%	2%	2%
教職員	41%	55%	4%	0%

⑩学校(学級)は、子どものよいところを見つけたり、伸ばしたりしていますか。(保護者)
自分にはよいところ(得意なこと、がんばっていること、ほめられることなど)があると思いますか。(児童)
子どものよいところを見つけたり、伸ばしたりできるように取り組んでいる。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	38%	55%	6%	1%
児童(高学年)	70%	24%	5%	1%
児童(低学年)	67%	23%	7%	3%
教職員	45%	55%	0%	0%

⑪学校(担任)は、子どもや保護者の質問や相談に熱心に応じていますか。(保護者)
困ったことがあるとき、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。(児童)
子どもや保護者の質問や相談に熱心に応じている。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	49%	47%	3%	1%
児童(高学年)	36%	35%	14%	15%
児童(低学年)	54%	30%	12%	4%
教職員	49%	51%	0%	0%



⑫子どもたちは、明日の学校を楽しみにしていますか。(保護者)

明日の学校を楽しみにしていますか。(児童)

子どもたちが明日の学校を楽しみになるように取り組んでいる。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	42%	46%	9%	3%
児童(高学年)	52%	29%	11%	8%
児童(低学年)	67%	17%	9%	7%
教職員	46%	54%	0%	0%

【アンケート結果の分析と今後の取組】

設問①「自分で考えて解決しようとしている」では、高学年児童・低学年児童ともに90%の児童が肯定的に回答しました。本校では、「明読」を通して学習前に自分なりの問いをもち、授業の中で友達と考えを交流しながら課題解決に取り組む学習を大切にしています。また、児童が受け身で学ぶのではなく、自ら考え、判断し、表現する場面を意識的に設定してきました。こうした積み重ねが、子どもたちの主体的な学習態度や問題解決への意欲につながっていると考えられます。また、この高い肯定的回答は、本校が進めている「問いを大切にした授業づくり」の成果の一つであると捉えています。今後も、子どもたちが自ら課題を見付け、仲間と協力しながら学びを深めていける授業づくりを進めてまいります。また、授業だけでなく、日々の学校生活全体を通して、一人一人の子どもを丁寧に見取り、そのよさや可能性を見だし、伸ばしていくことを引き続き教職員全員で大切にしていきます。

設問④「自分から進んで学習に取り組むことができましたか」では、昨年度後期の結果と比べて、肯定的な回答が高学年児童で4ポイント、低学年児童で8ポイント減少しました。子どもたちの主体的に学ぶ力については、学校と家庭がともに支えながら継続的に育んでいくことが大切だと考えています。今年度は、家庭学習と授業をつなぐ学びのサイクルづくりを目指し、年度当初に「自学自習のすすめ」をすぐるで配信しました。今後も、ご家庭と連携しながら、子どもたちが自ら課題を見付け、考え、学び続ける力をさらに伸ばしていくよう、日々の指導の工夫と充実に努めてまいります。また、設問③「進んで体を動かしたり運動したりしている」についても、肯定的な回答が保護者79%、高学年児童74%、低学年児童88%となっており、他の項目と比べるとやや低い結果となりました。今後も、体育学習や外遊びの充実を図りながら、子どもたちが体を動かす楽しさを感じられる機会を大切にまいります。また、この結果を受け、2学期からは子どもたちが少しでも体を動かす機会を増やせるよう、体育館の開放をしています。子どもたちの意見も取り入れながら、安全に配慮しつつ、自分たちで考えた遊びや運動に主体的に取り組める環境づくりを進めてまいります。

設問⑤「自分や友達を大切にできましたか」では、高学年児童・低学年児童ともに90%以上の児童が肯定的に回答しました。本校の学校教育目標である「人を大切に」や、目指す子ども像である「自分も人も大切にできる子」が、子どもたちの中に着実に根付いていることがうかがえます。日々の学級活動や人権学習、異学年交流、委員会活動などを通して、自分の考えを伝えたり、友達の思いを受け止めたりする機会を大切にしてきました。また、今年度は縦割り活動の充実にも力を入れており、年齢の異なる仲間と関わる中で、思いやりや責任感、協力する姿勢が育まれています。この高い肯定的回答は、安心して学校生活を送り、自分も友達も大切な存在だと感じられている児童が多いことを示していると考えられます。今後も、一人一人が認められ、互いを尊重し合える学校づくりを大切にしていきます。

設問⑨「事故や事件にあわないよう、安全に生活できている」では、児童・保護者・教職員のいずれも94%以上が肯定的な回答となりました。さらに、この設問はここ数年継続して高い結果が見られており、本校の安全教育への取組が一定の成果を上げていることがうかがえます。学校では、理科や家庭科、図画工作科、体育科等の学習において、安全な用具の使い方や危険を予測して行動することを指導しています。また、交通安全教室や自転車教室、非行防止教室、薬物乱用防止教室などを実施し、自らの命を守るために必要な知識や判断力を育んでいます。今年度は、全学年で情報モラル学習にも取り組み、SNSによるトラブルや犯罪被害を防ぐための正しい知識を学ぶ機会を設けました。この結果からは、学校だけでなく、家庭や地域の見守りや声掛けによって、子どもたちの安全意識が支えられていることもうかがえます。一方で、廊下を走る姿や登下校時の不注意な行動が見られることもあります。安全に関する知識をもつだけでなく、実際の行動につなげられるよう、今後も家庭・地域と連携しながら指導を継続してまいります。

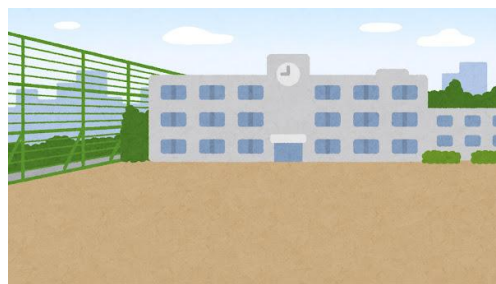
設問⑩「自分には良いところがあると思いますか」では、高学年児童・低学年児童ともに 90%以上の児童が肯定的に回答しました。特に高学年児童では、昨年度の 83%から 94%へと大きく向上しており、自分自身を肯定的に捉えることができる児童が増えていることが分かります。本校では、日々の教育活動の中で子どものよさや頑張りを認め、一人一人の可能性を伸ばすことを大切にしています。また、今年度の縦割り活動や全校自主清掃「ニコチャレ」では、異学年の仲間と協力しながら学校をよりよくする活動に主体的に取り組む姿が見られました。自分で考えて行動したことが認められたり、仲間や学校の役に立っていることを実感したりする経験が、自己肯定感の向上につながっているものと考えられます。自己肯定感、学習意欲や挑戦する気持ち、人との良好な関係づくりの土台となる力です。今後も、子どもたち一人一人の頑張りと成長を認める声掛けを大切にしながら、自信をもって生活できる子どもの育成に努めてまいります。

設問⑪「困ったことがあるとき、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」では、約 29%の高学年児童が「相談できない」または「あまり相談できない」と回答しました。多くの児童は相談できると感じている一方で、不安や悩みを抱えた際に相談しにくいと感じている児童もいることが分かりました。子どもたちの中には、「自分で何とかしようとする」「相談するほどではないと思う」「誰に話したらよいか分からない」など、様々な思いを抱えている場合があります。そのため、児童から相談を待つだけでなく、日頃の何気ない会話や関わりを通して子どもの変化に気づき、安心して話せる関係づくりを進めていくことが大切であると考えています。また、定期的実施しているいじめアンケートも活用し、子どもと面談し、子どもたちの困り感や不安の早期把握に努めています。本校では、担任だけでなく、学年団、専科教員、管理職、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等と連携しながら子どもたちを支援しています。こうした取組を通して、今後も誰もが安心して相談できる学校づくりを進めてまいります。

設問⑫「明日の学校を楽しみにしていますか」では、高学年児童では 19%、低学年児童では 16%の児童が否定的な回答をしました。一方で、8割を超える児童は学校生活を前向きに捉えていることも分かります。学校生活を楽しくしている理由は、学習への意欲、友達との関わり、行事への期待など様々ですが、逆に不安や悩みを抱えている児童にとっては登校への気持ちが低くなることもあります。特に高学年児童になるにつれて、学習内容の高度化や友人関係の変化などにより、悩みを抱える場面も増えてきます。設問⑪の結果とも関連しており、「相談できる人がいる」「自分が認められている」「安心できる居場所がある」という実感が、学校生活への意欲にもつながると考えられます。今後も、一人一人の思いを丁寧に受け止めながら、学級づくりや授業づくり、児童理解の充実を図り、子どもたちが「明日も学校に行きたい」と思える学校づくりに取り組んでまいります。

【おわりに】

今回のアンケート結果からは、多くの児童が前向きに学校生活を送り、自ら考えて学ぼうとする姿や、自分や友達を大切にしようとする姿勢が育っていることがうかがえました。これらは、「問いを大切にした授業づくり」や、一人一人の子どものよさや可能性を見だし伸ばす取組の成果の一つであると捉えています。今後も、家庭・地域の皆様と連携しながら、子どもたちが安心して学び、自信をもって成長していける学校づくりを進めてまいります。



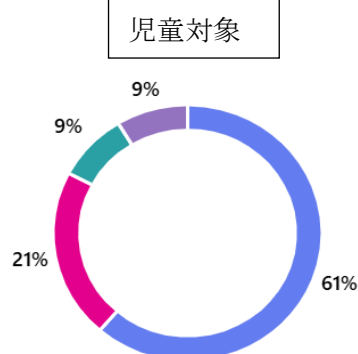
新しい学校の取組についてのアンケート結果

お忙しい中、こちらのアンケートにも多数の方がご協力いただき、ありがとうございました。1学期中旬に子どもたち（3年生以上）、保護者の方、教職員に実施しています。その結果を一部紹介いたします。

1週間が27コマ（火・木・金が5時間になったこと、14：00終業）が週3日になって放課後の時間にゆとりができたかについて、子どもたちは82%、保護者は72%が肯定的な回答をしています。子どもたちの回答を見ると、「友達とたくさん遊べるようになった」「宿題をする時に帰ったら時間があるからゆっくりていねいにできるから」「明日も頑張ろうという気持ちになれた」「時間の余裕があることで心理的にも心の余裕が出てきた」というものが見られました。また、保護者についても、「気持ちに余裕ができた」「放課後の時間を有効に活用できる」「お友達と遊ぶ時間が増え、運動する時間も増えていると思います」「自主勉強や習い事の練習、自由時間がしっかり確保できるようになり、生活にゆとりがもてるようになった」「体調を崩しにくくなった」「子どもが自分で放課後の時間の使い方を考えるようになった」「家族の時間も増えた」というものが見られました。一方で帰る時間が早くなり、家で子どもだけの時間が不安であるというものも見受けられました。学校は27コマの際も暑さ指数が標準内の時や、教職員研修等がない時については、引き続き、2学期以降もグラウンドや体育館、ブックワールドを開放したり、教室で補充学習を受けたり、担任の先生と話をしたりして、残って帰ることができるようにしていきます。1年生以外は、放課後パークに参加することもできます。ご家庭の方でも学校で過ごして帰ることができることをお声かけしていただければと思います。

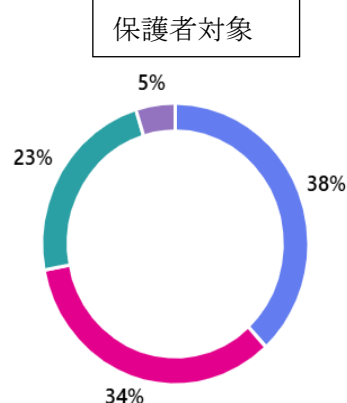
14. 1週間が27時間（火・木・金が5時間になったこと）に関しての質問です。5時間授業（14：00終業）が週3日になって放課後の時間にゆとりができましたか。

● そう思う	192
● だいたいそう思う	67
● あまりそう思わない	27
● そう思わない	27



1. 1週間が27時間（火・木・金が5時間になったこと）に関しての質問です。5時間授業（14：00終業）が週3日になって放課後の時間にお子さんのゆとりができましたか。

● そう思う	64
● だいたいそう思う	57
● あまりそう思わない	39
● そう思わない	8

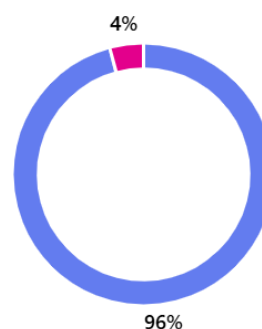


本校では、年度当初より、3年生は中間休みの後、4年生以上は2時間目～中間休みまでを「らくらくタイム」として60分授業を実施しています。この取組につきまして、困ったことがあるかの質問では子どもたちは96%、保護者の方も90%が特になしという回答でした。教職員へのアンケートでも、書写（毛筆）の時間を60分で行った方がよいという設問に関して90%が肯定的な回答をし、ゆっくり字を書いたり、急いで準備や後片付けを行わなくてもよくなったりしたと考えています。60分の授業枠の中でメリハリをつけながら、効果的に利用して成果が出始めている一面が見られます。一方で、先ほどの1週間が27コマになったことと合わせて授業時間・内容が削られていないか心配であるというご意見がありました。昨年度末（3月実施）の新しい教育課程に関する説明会でもお話しましたが、60分のうちの15分間を授業時間として計測し、学習内容を履修できるように時間割を編成しております。2学期以降も問題解決する力を伸ばしたり、合科学習・探究学習等の魅力ある授業を展開したりして、子どもたちの学びの充実に努めてまいります。

20. 60分授業についての質問です。15分間（漢字・算数の復習・テストなど）と45分間（教科の授業）を続けてしていますが、困ったことはありますか。困ったことがある場合はその他のところにその理由を書いてください。

児童対象

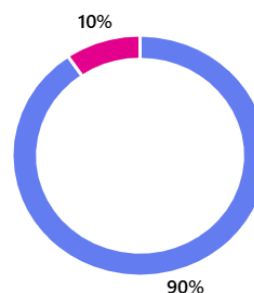
● 特になし。	300
● その他	13



6. 60分授業についての質問です。2時間目をらくらくタイムとして、15分間（漢字・算数の復習・テストなど）と45分間（教科の授業）を続けてしていますが、お子さんの様子を見て困ったことはありますか。困ったことがある場合はその他のところにその理由を書いてください。

保護者対象

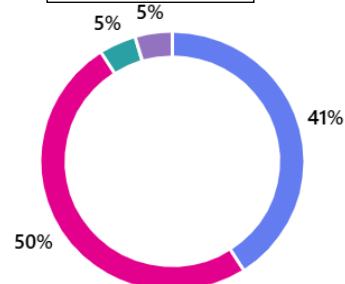
● 特になし。	152
● その他	16



1. 【3年生以上】書写に関する質問です。書写（毛筆）の時間を60分で行ってみてどのように思いましたか。

教職員対象

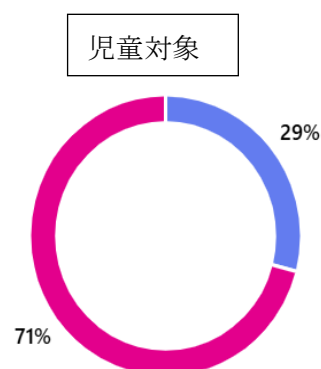
● よかった	9
● まあまあよかった	11
● あまりよくなかった	1
● よくなかった	1



今年度より火曜日に地域の方やボランティアの方が中心となって行っている放課後パークプロジェクトについて、参加したことがあると答えた子どもが29%でした。この参加したことがあると答えた子どもにつきまして、「参加して新しいことを学べたり、体験したりできた」と答えた子どもが77%、「地域や保護者などいろいろな大人と関わることができた」と答えた子どもが64%いました。保護者の意見の中には「iPS細胞を見せてもらったり、大人でもうらやましかったりする様な経験をさせて頂いている」「違う学年の人と仲良くなれる」「折り紙が好きなので、自分の得意なことを友達に教える機会があり良かったと思います」「覚えた手品を嬉しそうに見せてくれた。どの活動も参加後、とても楽しそうに感想を教えてくれる」といったものが見られました。夏休み明けは、折り紙・レゴ遊びなどの活動も実施しながら、体を動かす活動や自然に親しむ体験なども取り入れていく予定です。ぜひ子どもたちにも参加を促していただければ幸いです。

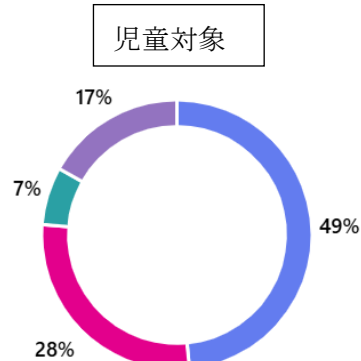
29. 放課後パークプロジェクトに関する質問です。放課後パークに参加したことがありますか。

- 参加したことがある。 91
- 参加したことはない。 222



30. 29で参加したことがあると回答した人に質問です。参加して新しいことを学べたり、体験したりできましたか。

- そう思う 49
- だいたいそう思う 28
- あまりそう思わない 7
- そう思わない 17



32. 29で参加したことがあると回答した人に質問です。地域や保護者などいろいろな大人の人と関わることができましたか。

- そう思う 38
- だいたいそう思う 26
- あまりそう思わない 18
- そう思わない 18

